



# 見中だより

No14

令和7年10月16日発行  
浦安市立見明川中学校  
校長 松川 健治

## 後期スタート

先週の金曜日に通知表を配付しました。結果はどうでしたか。  
努力が実った人、ちょっと努力が不足して芳しくなかった人、こんなもんかーと思った人など、さまざまだったと思います。

時間は元には戻りませんので、「見中だより6号」すでに伝えた「振り返り・反省→課題の整理→計画→実行」を行うことが大切です。これは、人間にしかできない特殊能力ですので、その能力を存分に発揮してください。これをやるかやらないかで人生が大きく変わるといつても過言ではありません。

任命式の際に、お話しさせていただきましたとおり、14日の後期スタートに合わせて、気持ちを新たにし、学習を始め、学校生活全般について頑張りぬきましょう。

話は少々変わりますが、「いつやるの 今でしょ！」でおなじみの林修先生はご存じですよね。先日、林先生のYouTubeを見ていたら、素晴らしい名言があったので、紹介します。これは、林先生が受験1ヶ月前の受験生に伝える内容だそうです。

この「1月（ひとつき）」頑張れるかが勝負です。「実は、1月頑張ることはとても大変です。」しかし、「1月頑張れた人は、1年頑張れます。」、「1年頑張った人は、10年頑張れます。」、「10年頑張った人は、一生頑張れます。」そして、「この1月頑張る」を「10代のうちにできるかが非常に大切なんです。」というような内容でした。

すでに聞いたことがある人もいるかと思いますが、ぐっときたので、皆さんにも共有しておきます。

## 赤い羽根 街頭募金活動

赤い羽根募金とは、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指すための募金活動です。10月9日（木）に舞浜駅で行われた街頭募金活動に、本校生徒会メンバーが、参加してきました。

集まった募金については、高齢者や障がいをもった方々、子どもへの支援活動、地域福祉を支えるNPO法人やボランティア団体の活動資金などに使われます。

少しでも誰もが安全・安心で、よりよい生活ができたらしいですね。生徒会の皆さん、大変お疲れ様でした。



## 後期任命式

14日（火）に後期任命式を行いました。これは、先日行われた生徒会役員選挙で当選した新生徒会メンバーを任命する儀式的行事です。また、前期各専門委員長と前期学級役員の交代も同時に行いました。

旧生徒会役員の皆さん、お疲れ様でした。併せて、前期の学級委員長、各専門委員長の皆さんも、大変お疲れ様でした。特に、旧生徒会のメンバーには、多くの場面で、しっかりとした挨拶をもらったり、諸行事の企画から運営まで携わってもらったりと活躍していただきました。学校の顔として、いつも頼もしく感じていました。今まで本当にありがとうございました。今後は、これまでの経験や反省を生かして、新しい役員へのアドバイスや協力をお願いします。

そして、任命された新生徒会長さんをはじめ、7名の新生徒会本部役員の皆さん、当選おめでとうございます。自覚と責任をもって、立会演説会での言葉を現実のものとしてください。

最後に生徒の皆さんには、生徒会の応援団です。良い時も悩める時もあたたかく見守ったり、協力したりしながらより良い見明川中学校にしてください。皆さんのサポートを期待しています。

